

佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会
令和6年度 第1回総務部会 次 第

令和6年7月4日（木）午後6時30分
佐野市立西中学校 第2理科室

1 開 会

2 出席者紹介（自己紹介）

3 概要説明 資料1 資料2 資料3

4 部会長及び副部会長の選任について

5 議 事

（1）校名の協議経過について 資料4

（2）校章・校旗の制作方法について 資料5 資料6

（3）校歌の制作方法について 資料7 資料8

6 その他

7 閉 会

令和 6 年度 佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会
総務部会 名簿

(敬称略)

No	氏 名	役 職	関係校	備 考
1		大橋町（東部）町会長	天明小	
2		君田町町会長	植野小	
3		並木町（田中）町会長	旗川小	
4		村上町町会長	吾妻小	
5		P T A副会長	天明小	
6		P T A役員	天明小	
7		P T A役員	植野小	
8		P T A役員	植野小	
9		P T A副会長	旗川小	
10		P T A会計	旗川小	
11		P T A副会長	吾妻小	
12		P T A副会長	吾妻小	
13		P T A役員	西中	
14		P T A役員	西中	
15		校長	天明小	
16		校長	植野小	
17		校長	旗川小	
18		校長	吾妻小	
19		校長	西中	
20		教育総務課 総務係長	市教委	
21		学校教育課 指導主事	市教委	

佐野市立西中学校区小中一貫校の整備について

I 小中一貫校の概要

- 1 建設予定地… 佐野市大橋町2026（現・西中学校敷地）
学校敷地面積 33,149㎡
※必要となる校舎、屋内運動場などを整備（新築）
- 2 学校種 … 学校教育法に基づく「義務教育学校」（施設一体型）
- 3 開校予定時期 … 令和10年4月
- 4 新しい学校名、校章、校歌
… 開校準備委員会（総務部会）で選定方法等も含め検討・決定する
- 5 対象となる市立学校及び通学区域

対象校	通 学 区 域
天明小（一部）	大橋町
植野小（一部）	七軒町、赤坂町、君田町
旗川小	並木町、免鳥町、小中町
吾妻小	村上町、上羽田町、下羽田町、高橋町
西 中	対象となる上記の市立小学校の通学区域

6 児童生徒数（開校時の予測値）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
人数	76	88	79	92	95	100	107	109	104	850
学級数 (参考)	3	3	3	3	3	3	4	4	3	29

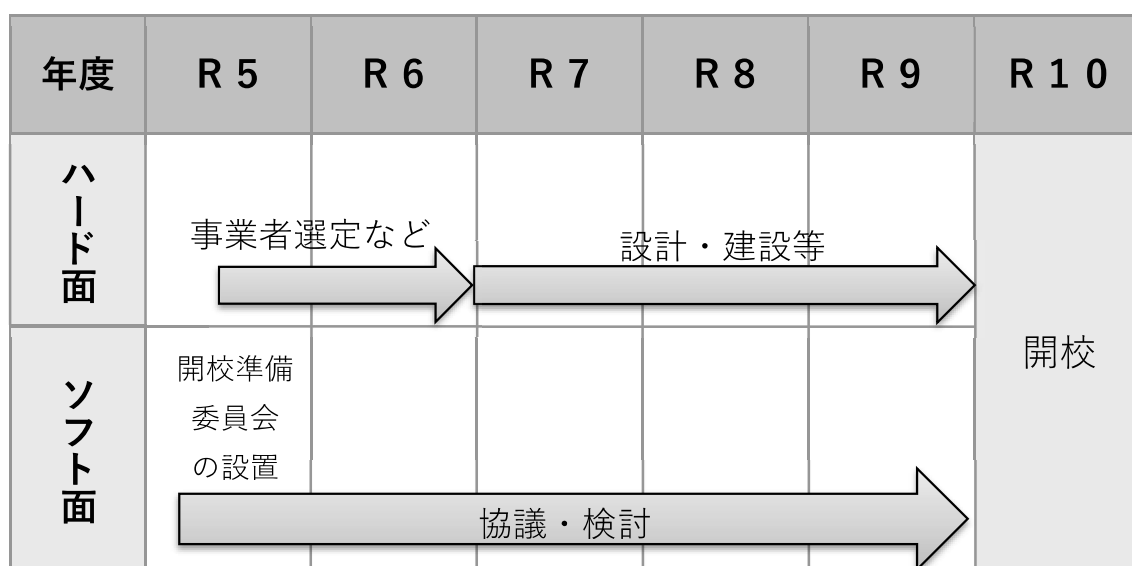
（令和6年5月1日現在）

（※1）学級数は35名／1学級で計算

（※2）上記の学級数は、特別支援学級数を含まない。

7 今後のスケジュール（案）

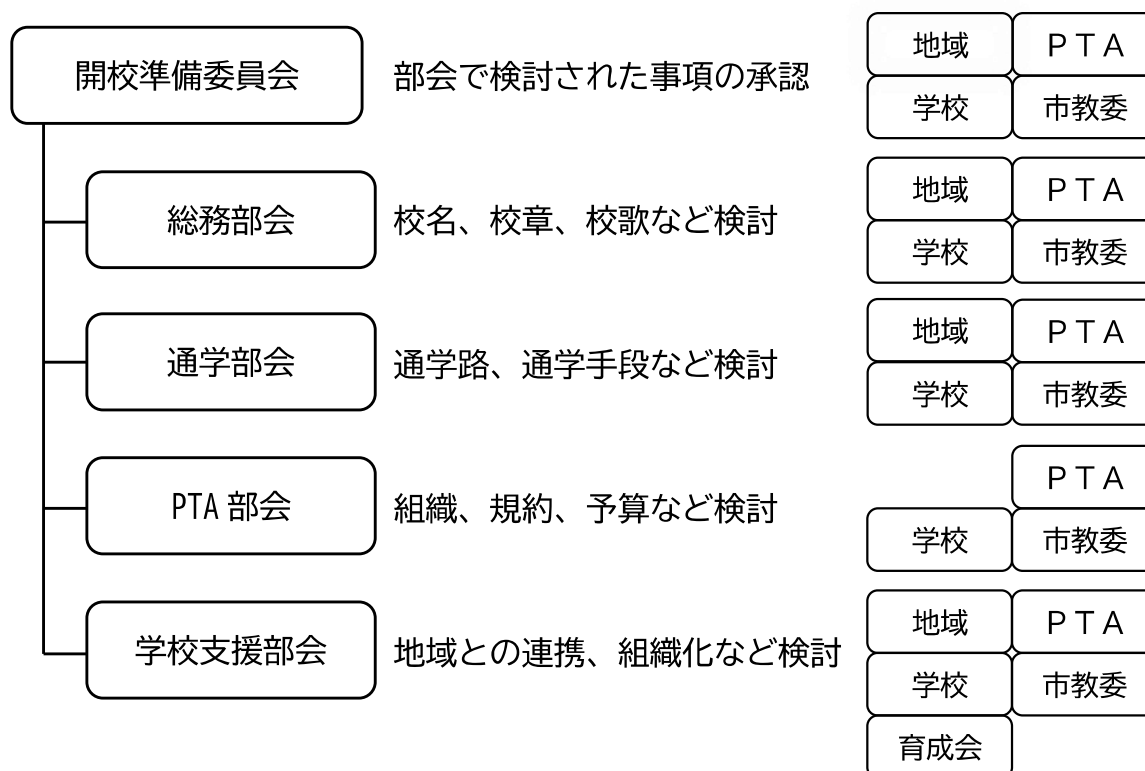
現時点の案であり、社会経済情勢の変化等により、変更が生じる場合がある。



II 協議体制

1 学校運営（ソフト面）

- ・開校準備委員会を組織して協議、決定していく。
- ・開校準備委員会の下に部会を設置し、細部を検討する。
（内容）校名、校歌、通学関係、PTA組織、地域支援体制など



2 学校運営に係る専門的、教育内容などについては、教職員等の組織で検討。

（内容）教育理念・目標、日課表、特色ある教育活動、学校行事、制服など

令和5年4月28日
佐野市教育委員会告示第19号

佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会設置要綱

(設置)

第1条 佐野市西中学校区における学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第1条に規定する義務教育学校(以下「小中一貫校」という。)の設置(以下「開校」という。)を推進するため、佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 小中一貫校の名称、校旗、校章、校歌、開校に係る記念事業等に関すること。
- (2) 通学路、通学の方法等に関すること。
- (3) PTA(小中一貫校に在籍することとなる児童又は生徒の保護者(法第16条に規定する保護者をいい、同条に規定する保護者のない場合における里親(児童福祉法(昭和22年法律第164号)第27条第1項第3号の規定による委託を受けた里親をいい、当該委託を受けた里親がない場合においては、当該児童又は生徒の監護及び教育をしている者をいう。)を含む。以下同じ。)及び当該小中一貫校の教職員で構成される団体又はその連合体をいう。)の組織及び運営に関すること。
- (4) 地域において小中一貫校を支援する組織に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、小中一貫校の開校に関し必要があると認める事務(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 西中学校区に存する法第1条に規定する小学校及び中学校(以下「小中学校」という。)に在籍する児童又は生徒の保護者の代表者
- (2) 西中学校区の町会の町会長
- (3) 小中学校の校長
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が必要があると認める者(任期等)

第4条 委員の任期は、小中一貫校の開校の日の前日までとする。

2 前条第2項第1号に掲げる委員が保護者の代表者でなくなったとき、又は同項第2号に掲げる委員が町会長でなくなったときは、委員の職を失うものとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員長及び副委員長は、委員の互選により定めるものとする。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めて、その意見又は説明を聴くことができる。

(専門部会)

第7条 委員会は、第2条各号に掲げる事務に係る調査及び研究をするため、専門部会を置くことができる。

2 前項の専門部会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育部学校適正配置課において処理する。

(その他)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、告示の日から施行する。

(会議の招集の特例)

2 この告示の施行の日以後最初に開かれる委員会の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会専門部会設置方針

1 趣旨

この方針は、佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会設置要綱第7条に規定する佐野市西中学校区小中一貫校開校準備委員会（以下「委員会」という。）の専門部会（以下「部会」という。）の設置、運営に関したものを定める。

2 部会の種類及び所掌事務

部会の種類及び所掌事務は、次のとおりとする。

部会名	所掌事務
総務部会	小中一貫校の名称、校旗、校章、校歌、および開校に係る記念事業等に関すること。
通学部会	通学路、スクールバス、通学関連施設等に関すること。
P T A部会	P T A組織運営（組織、規約・役員、予算、事業内容等）に関すること。
学校支援部会	学校と地域との連携、学校支援地域組織の検討及び組織等に関すること。

3 部会の組織

部会の組織は、次のとおりとする。

（１）各部会の部員（以下「部会員」という。）は次のうちから、委員会の委員長（以下「委員長」という。）が委嘱する。

部会名	部 会 員
総務部会	地域の代表者、小中学校 P T A 小中学校教職員、佐野市教育委員会
通学部会	小中学校 P T A 小中学校教職員、佐野市教育委員会
P T A部会	小中学校 P T A 小中学校教職員、佐野市教育委員会
学校支援部会	地域の代表者、小中学校 P T A、育成会 小中学校教職員、佐野市教育委員会

（２）部会に部会長１名及び副部会長を若干名置く。

（３）部会長は、部会員の互選により定める。

（４）副部会長は、部会長が指名する。

（５）部会長は、部会を代表し、部会の会議（以下「部会会議」という。）を整理し、部会会議の議長となる。

（６）副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるとき又は欠けたときは、その

職務を代理する。

(7) 部会会議は、部会長が招集する。ただし、1回目の部会会議は、委員長が招集する。

(8) 各部会の事務局は、次のとおりとする。

総務部会：学校適正配置課 適正配置推進係

通学部会：学校適正配置課 適正配置推進係

P T A部会：生涯学習課 社会教育係

学校支援部会：生涯学習課 社会教育係

(9) 部会に関する庶務は、事務局が担当することとする。

4 その他

(1) 部会の設置及び部員の構成等については、必要に応じて委員会で調整できるものとする。

(2) この方針に定めるもののほか、部会の運営等に関し必要な事項は、部会長がその都度部会会議に諮って、定める。

佐野市西中学校区小中一貫校 校名 協議経過

日 程	項 目	協議内容
令和5年 7/6	第1回 総務部会	<ul style="list-style-type: none"> ・校名案のアンケートを実施することを決定。 ・アンケートの対象者は、西中学校区（児童生徒、保護者、地域の方）を対象とする。
7月中旬 ～9/8	校名案 アンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐野市立（ ）義務教育学校」の（ ）内を募集。 ・校名案の応募件数は62件。
9/27	第2回 総務部会	<ul style="list-style-type: none"> ・校名(案)募集結果の報告。 ・総務部会員の所属団体に募集結果を持ち帰り、意見集約。 ・第3回会議において各学校単位、次に全体で協議し、校名(案)（総務部会案）を選定する
12/11	第3回 総務部会	<ul style="list-style-type: none"> ・校名案として2グループに絞り込まれる。
令和6年 2/7	第2回 開校準備委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部会の2グループから、「かえで義務教育学校」を選定
5/24	教育委員会 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・新校名について、承認を得る。
6/24	市議会6月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設置条例の改正を上程し、議決を得る。 ・条例施行日 令和10年4月1日

校章・校旗の制作方法について

1 佐野市及び他自治体の小中一貫校の校章について

(1) あそ野学園義務教育学校

- ・校章の作成にあたっては、公募をしてその内容を踏まえ専門家へ依頼。
- ・公募内容は、新しい学校への思いや校章に活かしてほしいものを募集（言葉、絵問わない）。応募資格者は田沼西中学校区の児童生徒、保護者、地域の方。
- ・校章を制作していただく専門家として、地元の画家である安藤 勇寿氏へ依頼。
- ・公募内容を踏まえ、安藤 勇寿氏が校章案を配色なしの状態です3つ制作。その中から総務部会で1案を選定し、開校準備委員会へ提出し、了承された。その後、同氏が選定されたデザインに配色を行い、あそ野学園の校章が完成した。

(2) 葛生義務教育学校

- ・校章の作成にあたっては、公募をしてその内容を踏まえ専門家へ依頼。
- ・公募内容は、デザイン、イメージ、言葉いずれも可とし、デザインイメージに言葉の説明がある場合はつけてもらう内容とした。応募資格者は葛生義務教育学校区の児童生徒、保護者、地域の方。
- ・校章の制作は旧葛生町出身で葛生中学校卒業生である3名が属する民間会社へ依頼。
- ・公募内容を踏まえ、校章案を配色なしの状態です2案制作。その中から総務部会で1案を選定。同様に、デザインの配色も2案のうち1案を協議のうえ選定し開校準備委員会へ提出し、了承され、葛生義務教育学校の校章が完成した。

(3) 他自治体の小中一貫校の選定方法

学校名	選定方法
新治学園 (茨城県土浦市) ・小3校、中1校	公募 委員会で1次及び2次審査を実施
塩浜学園 (千葉県市川市) ・小1校、中1校	公募 委員会で選定
西金沢学園 (神奈川県横浜市) ・小1校、中1校	各校のスクールカラーを基調に制作 中学生が制作したいいくつかの案を提示し、児童・生徒の投票を経て決定
土肥小中一貫校 (静岡県伊豆市) ・小1校、中1校	公募 校章作成委員会を組織し作品を選定修正・提案 開校準備委員会で承認
みさとの丘学園 (三重県津市) ・小3校、中1校	美里地域の小中学生・保護者・在住または在勤の方々に公募。 選定者は、津市内の美術家・デザイナー、「みさとの丘学園開校準備委員会」の「校旗・校章検討グループ」の代表、美里地域の小中学校の教員、教育委員会の関係者
伏虎義務教育学校 (和歌山県和歌山市) ・小3校、中1校	中学校区の児童生徒、卒業生及び市内高校生に募集 準備委員会で選定
吉名学園 (広島県竹原市) ・小1校、中1校	公募（吉名町在住の方、吉名町内に勤務する方、吉名小学校、吉名中学校の在校生または卒業生）し、選定委員会で選定

2 かえで義務教育学校の校章について

(1) 公募する場合

- 1) 公募の中から児童生徒の投票で決定
- 2) 公募内容を踏まえ専門家に制作依頼（あそ野学園及び葛生義務教育学校）
- 3) 公募内容を踏まえ校章検討委員会等で制作
- 4) その他

(2) 公募しない場合

- 1) 専門家に制作依頼
- 2) 校章検討委員会等で制作
- 3) その他

3 制作方法のメリット・デメリット

制作方法	メリット	デメリット
・ 公募による	・ 幅広くアイデアを募集できる。 ・ 高額な費用は必要でない。	・ 作品の応募数や質の確保に問題 ・ 総務部会で多数の中から選考する必要がある。
・ 専門家に依頼	・ 一定水準以上の作品の質に期待ができる。 ・ 総務部会の負担を軽減できる。	・ 高額な報酬が必要な場合がある。 ・ 総務部会等の意見や幅広いアイデアを反映しにくい。
・ 校章検討委員会を設置	・ 総務部会の意見を反映しやすい。 ・ 高額な費用は必要でない。	・ 幅広いアイデアを反映しにくい。 ・ 教職員等、関係者の負担増

校章・校旗（参考資料）

1 佐野市立西中学校区の各小中学校の校章



天明小学校



植野小学校



旗川小学校



吾妻小学校



佐野西中学校

2 本市義務教育学校及び他校の校章



あそ野学園



葛生



塩浜学園



みさとの丘学園



伏虎義務教育学校

校歌の制作方法について

1 佐野市及び他自治体の小中一貫校の校歌について

(1) あそ野学園義務教育学校

- ・校歌案の制作方法について、新しい校歌を制作し、詞曲は公募せず、作詞を田沼 清氏へ依頼。田沼氏は田沼西中学校区の小学校を24年間歴任され、その後、佐野市教育委員会教育長を務められた方。作曲は田沼氏と相談のうえ決めることとなった。
- ・田沼氏へお願いする時に、総務部会で出た意見（アンケート結果を踏まえること、新しい学校新しい時代に合ったものを希望していること、等々）を伝えた。
- ・作曲は田沼氏と相談し、地元出身（下彦間町）の声楽家である柿沼 伸美氏へ依頼。

(2) 葛生義務教育学校

- ・校歌案の制作方法について、新しい校歌を制作し、作詞、作曲とも公募せず専門家に依頼。委員から売野 雅勇氏、平井 李枝氏の2名が推薦され、協議の結果、売野氏へ依頼した。
- ・校歌の制作費用については予算にとらわれず、不足が生じた場合は各校で分担することに決定した。
- ・売野氏と交渉した結果、制作費は作詞作曲あわせ80万円。費用分担は佐野市が20万円、残りの60万円は、各校で10万円ずつ負担した。
- ・最終的に売野氏との打ち合わせで作詞を売野氏、作曲を中西 圭三氏が担当することとなった。

(3) 他自治体の小中一貫校の選定方法

学校名	制作方法
新治学園 (茨城県土浦市)	作詞は新治中学校の校長を務めた方に依頼 作曲は地元のシンガーソングライターに依頼
塩浜学園 (千葉県市川市)	9年生が音楽の時間に作詞。作曲は依頼
西金沢学園 (神奈川県横浜市)	生徒会と小・中学校音楽担当教諭が中心となって制作 西金沢中学校校歌を基に、曲、詩ともにアレンジ。 詩は釜利谷西小学校と西金沢中学校の校歌の歌詞を活かしながら、これからも使っていきたい歌詞や言葉を残しながら完成
土肥小中一貫校 (静岡県伊豆市)	児童・生徒へ歌詞のアンケートを実施 校歌作成委員会を組織し制作
みさとの丘学園 (三重県津市)	委員会から新しい学校の校歌に織り込むフレーズを募集し、作詞作曲できる方の情報を収集して、作詞作曲を依頼する人を選定
伏虎義務教育学校 (和歌山県和歌山市)	作詞家の秋本康氏に依頼
吉名学園 (広島県竹原市)	校歌の歌詞に入れたい言葉を募集。応募資格は、吉名町在住の方、吉名町内に勤務する方、吉名小学校、吉名中学校の在校生または卒業生 曲は、地元ミュージシャン、中学校音楽担当など音楽仲間が担当

2 かえで義務教育学校の校歌について

(1) 作詞について

1) 公募する場合

- ①公募内容を基に専門家に作成依頼
- ②公募内容を基に作詞・作曲検討委員会で作成
- ③その他

2) 公募しない場合

- ①専門家に作成依頼（葛生義務教育学校）
- ②作詞検討委員会で作成
- ③その他（あそ野学園→学校区に縁のある田沼 清氏に依頼。）

(2) 作曲について

1) 公募する場合

- ①公募内容を基に専門家に作成依頼
- ②公募案を基に作詞・作曲検討委員会で作成
- ③その他

2) 公募しない場合

- ①専門家に作成依頼（あそ野学園及び葛生義務教育学校）
- ②作詞・作曲検討委員会で作成
- ③その他

3 制作方法のメリット・デメリット

制作方法	メリット	デメリット
・ 公募による	・ 幅広くアイデアを募集できる。	・ 作品の応募数や質の確保に問題。 ・ 総務部会で多数の中から選考する必要がある。
・ 専門家に依頼	・ 一定水準以上の作品の質に期待ができる。 ・ 総務部会の負担を軽減できる。	・ 高額な報酬が必要な場合がある。 ・ 総務部会等の意見や幅広いアイデアを反映しにくい。
・ 作詞・作曲検討委員会を設置	・ 総務部会の意見を反映しやすい。 ・ 高額な費用は必要でない。	・ 幅広いアイデアを反映しにくい。 ・ 教職員等、関係者の負担増。

校歌（参考資料）

佐野市立小中学校校歌制作者			
学校名	作 詞 者	作 曲 者	制定年月日
佐野小	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	
天明小	薮 田 義 雄	中 野 義 見	
植野小	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	
界小	早乙女 康 太	橋 本 武 夫	S. 30. 4
犬伏小	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	S. 38. 9
犬伏東小	斎 藤 義 央	橋 本 武 夫	S. 56. 3. 13
城北小	城北小学校職員	橋 本 武 夫	
旗川小	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	
吾妻小	岩 本 平太郎	下 総 皖 一	
赤見小	石 川 守 三	橋 本 武 夫	
石塚小	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	
出流原小	勝 承 夫	下 総 皖 一	
田沼小	関 口 修	須賀田 磯太郎	S. 25. 9. 30
吉水小	巖谷 小波（久保 欣一）	老 川 潮	
栃本小	松 本 彦三郎	中 山 二 郎	S. 16
多田小	大 滝 清 雄	橋 本 武 夫	S. 39. 1
戸奈良小	関 口 修	橋 本 武 夫	S. 37. 10. 10
三好小	校歌制定委員会	橋 本 武 夫	S. 32. 4. 28
山形小	石 森 延 男	下 総 皖 一	
閑馬小	石 川 浩 義	小 平 貞 夫	
下彦間小	大 谷 隆 重	松 原 進	
飛駒小	小 林 政 一	石 井 勝 也	
葛生小	売野 雅勇（作詞・作曲）	塩入 俊哉（編曲）	H. 16. 1. 30
葛生南小	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	
常盤小	宮 沢 章 二	下 総 皖 一	S. 33. 12. 13
氷室小	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	
城東中	神 保 光太郎	貴 島 清 彦	
西中	勝 承 夫	下 総 皖 一	S. 32. 2. 25
南中	戸 倉 広 愛	橋 本 武 夫	S. 28. 2. 21
北中	勝 承 夫	下 総 皖 一	S. 26. 5. 12
赤見中	勝 承 夫	下 総 皖 一	
田沼東中	関 口 修	須賀田 磯太郎	
田沼西中	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	
葛生中	勝 承 夫	下 総 皖 一	S. 26. 4. 16
常盤中	石 川 浩 義	橋 本 武 夫	S. 47. 1. 19
あそ野学園	田 沼 清	柿 沼 伸 美	R2. 4. 1
葛生 義務教育学校	売 野 雅 勇	中西 圭三（作曲） 小西 貴雄（編曲）	R5. 4. 1

天明小学校校歌

- 一 もくせいの花咲きかおり
遠い未来のあこがれが
胸から胸へと温められる
天明はわれらの学び舎
われらの心のふるさと
- 二 その水の姿のように
遠い谷間のあこがれが
尾根から尾根へと温められる
山川の遙かな旅路よ
遙かな心のゆくえよ
- 三 彩雲のたなびくなかに
湧いてひろがる歌声が
胸から胸へと温められる
天明はわれらの団居よ
われらの心のふるさと

植野小学校校歌

- 一 光あかるい この窓は
たのしい夢の 開く窓
心もかるく ほがらかに
学ぶよわれら 植野小
大きい力が わいてくる
- 二 笑顔こぼれる この庭は
いのちの花が ひらく庭
よい子はつよく たくましく
若木ものびる 植野小
大きい未来が 待っている
- 三 風に流れる この歌は
みどりの空を ひらく歌
かがやく虹の 橋かけて
世界をむすぶ 植野小
大きい希望が もりあがる

旗川小学校校歌

- 一 安蘇の山 とわの姿よ
このいのち こだまを呼んで
晴れわたる 学びの庭に
まごころの 花はかがやく
ああ旗川 われら母校
- 二 夢深く 心ひとつに
組むすぶ 奉仕のまこと
この道を 正しくつよく
ひとすじに 進む樂しさ
ああ旗川 われら母校
- 三 おおらかに 伸びなる若木よ
その力 あつめて清く
光よぶ みどりの風に
歌声は たからかにはずむ
ああ旗川 われら母校
ああ旗川 われら母校

吾妻小学校校歌

- 一 梨の木映ゆる 吾妻野の
松の木茂る 学舎に
扶けあいつつ 励むもの
我等が日々に 誠あり
- 二 れんげ花咲く 春の日も
黄金波打つ 秋の日も
うまずたゆまず 勤しめる
我等が日々に 希望あり
- 三 美空に仰ぐ 富士が嶺や
渡良瀬の水 澄むほとり
心も身をも 磨き合う
我が学舎に 栄あれ

佐野西中学校校歌

- 一 つらなる山も はるかに晴れて
希望の光 踊る学び舎
若き太陽 燃えたつ力は
つねにわれらが 上にあり
佐野西中学 かがやく母校
- 二 こころの春を 色どるみどり
見晴らす富士も 清き学び舎
自主の校風 かわらぬ友情
共に讃えて 進みゆく
佐野西中学 理想の泉
- 三 親しき友と 未来を語る
芝生も樂し 花の学び舎
栃の若葉と のびゆくわれらは
明日の平和を 担うもの
佐野西中学 栄えある母校